

家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和5年9月6日発行

◇南樺太の野鳥で高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)ウイルスの感染が確認

ロシア家畜衛生当局から国際獣疫事務局(WOAH)への報告によると、南樺太において死亡野鳥(ウミスズメ科の野鳥(種未同定))で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)の感染事例が3件確認されました。

概要は以下のとおりです。

	検査日	場所	動物種	死亡数
事例1	7月20日	サリハン州 ドリンスク市	ウミスズメ科 (種未同定)	1
事例2	7月25日	サリハン州 マカロフ市	ウミスズメ科 (種未同定)	272
事例3	7月25日	サリハン州 コルサコフ市	ウミスズメ科 (種未同定)	1



(出典: WOAH)

南樺太には8月上旬から北海道や東北に渡ってくる鳥種もあり、秋からはカモ類の飛行ルートとなるため、ウイルスが国内に侵入するリスクが高まっています。

◇フランスで高病原性鳥インフルエンザワクチン接種開始 日本ではフランスからの家きん、家きん肉等の輸入を禁止!!

フランス家畜衛生当局より本年10月1日から飼養あひるを対象とした高病原性鳥インフルエンザワクチン(HPAIワクチン)接種を開始すると農林水産省に連絡がありました。我が国はワクチン接種国からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を認めていないことから、フランス全土から日本向けに輸出される生きた家きん、家きん肉等について、輸入停止措置を講じることとなりました。

鳥インフルエンザシーズンに備えて、
鶏舎施設の再点検をお願いします!!



裏面へ続きます

野鳥等の侵入防止対策の徹底をお願いします!!

飼養衛生管理基準を遵守し、
農場へのウイルスの侵入を防ぎましょう

予防対策の重要ポイント



- ① 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止
- 衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
 - 衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用
 - 上記措置の記録
- ② 野生動物対策
- 防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
 - 家きん舎周囲の清掃、整理・整頓
 - 上記措置の定期点検

飼養鶏に異常を認めた場合は、直ちに家畜保健衛生所にご連絡ください

最上家畜保健衛生所
(休日・夜間も対応)

電話：0233-29-1357
携帯：080-1840-0704